

トライス豆知識

## JPEG、PNG、GIF、BMP…???

### 意外と知らない! 画像の形式について

パソコンで画像データを扱う際、ファイルに「.jpg (.jpeg)」「.png」や「.gif」などの拡張子がついていることがありますよね。画像データには、様々な種類があり、拡張子はその形式を表しています。自分で編集する場合や、デザイン会社に提供する場合など、どの形式を使えばよいのか迷わないように、特徴を簡単にご紹介します!

#### JPEG(ジェイペグ)/ .jpg .jpeg

簡単に言うと**写真に適した画像形式**。1670万色まで扱うことができ、写真やグラデーションもキレイに表現できます。**一度低解像度にしてしまうと、もとに戻すことはできない**ため、メール添付用に圧縮する場合などは、元データをとっておく必要があるため注意。**デザイン会社に写真を提供する時はJPEGで、できるだけ大きなサイズがベストです!**ちなみに、背景透過はできません。

#### PNG(ピング)/ .png

**ウェブで使われるために生まれた画像形式**。ウェブサイトのボタンやバナーなどは、PNG形式で作成します。グラデーションや色数の多い表現も可能で、写真を丸く切り抜いて**背景を透明**にしたい場合や、グラデーションをつけたい場合にも適しています。

#### BMP(ビーエムピー)/ .bmp

**Windowsの標準の画像形式**。Windowsのペイントで描いた画像などはBMPで保存されます。圧縮せずに扱う形式のため容量が大きくメール添付などには向いていません。また、背景透過もできません。

#### GIF(ジフ)/ .gif

**256色以下で構成される画像形式**。色数の限られたロゴや図版などに適した形式です。逆に、多くの色を必要とする写真などには適しません。**アニメーション画像**も表現することができます。背景透過可能です。

このほかにもさまざまな形式が存在します。迷ったときはお気軽に担当の営業にご相談ください!

トライス渡辺のぼろぼろコラム

### 「渡辺でございます!」

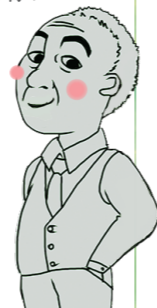
大学に伺うと、ちよどオープンキャンパスということがよくある。こね頃は親類縁者も同伴し(という親に子供が同伴?)、たんだや晴がましい顔をよく見かける。エ、わが家の桃太郎も 自らの中学校のオープンキャンパスに参加する。お返し 補欠で、成績は超底空飛行の桃太郎、生徒会メンバーということで新員した。らしい。本当は成績不良者のパレティではないのか? まあ、でも孝之が、こね子でも入学でエという安心感を与え子にはよい人選かも。せいぜい赤点台は御座、内申点を稼いであくれ。

NEWS

## トライス京都事務所がオープンしました!!!

京都に連絡事務所を開設しました。京都、滋賀、奈良と京都以東の皆様により近くなりました。これからもどうぞよろしくお願いたします。

京都事務所  
京都市中京区梅忠町24番地  
COHJUビル 406号室  
Mobile Phone 090-9718-2942



### 編集後記

こんにちは! 今年の夏季休暇では、初めてラフティング(ボートで急流を下るマリンスポーツ)を経験した営業企画チームの島田です。皆さまは平成最後の夏、楽しめたでしょうか? 私はどちらかというと秋は好きなのですが、それでも夏の終わりが見えてくると、少し寂しく感じてしまうものですね。

今回のトライス通信では、商品の加工技術の高さを伝えるため、写真撮影に力を入れたパンフレットを紹介させていただきました。紙面デザインに使用されているドリルの刃先は、すべて撮影した本物のドリルです。一本一本に個性があって、とても美しいですね! ちなみに、こちらのパンフレットは今年の4月に入社した営業の平松が初めて担当させていただいた案件! パンフレットの完成を喜んでくれる彼女を激写してしまいました!



## あなたの想いをカタチにします

- デザイン・企画
- WEBサイト
- 写真撮影
- 動画制作
- ノベルティ制作
- イラスト制作
- 印刷・製本・特殊加工
- 取材・原稿作成



# トライス通信

NEWSLETTER from TRAIS  
2018.08 vol.28

みなさまにトライスの「現在」をお届けするニュースレター



## Pamphlet 株式会社 タカギエンジニアリング様

神戸市西区で切削工具(ドリル)の研磨の業務をされている、株式会社タカギエンジニアリング様より、9/6~7に開催の「国際フロンティア産業メッセ」で使用されるパンフレットとバナーの作成をご依頼いただきました。

タカギエンジニアリング様の商品に対する想いや、技術力を表現するため、実際に作成されたドリルや、工場の方の手をお借りして写真を撮影。何度も指の角度や光の加減を微調整しながら撮影を進め、パンフレットのメインビジュアルにふさわしい写真を撮ることができました。

中面・裏面では一つひとつ形の違いがわかりやすいよう、刃先の写真と加工事例をレイアウト。加工技術の幅の広さをお伝えする工夫を行いました。

